



## 宿南地区自治協議会総会 開催

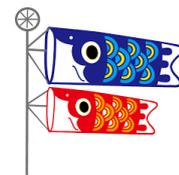
4月24日(水) 令和6年度 宿南地区自治協議会総会をふれあい倶楽部ホールに於いて運営委員68人(うち委任状17人)の出席で開催いたしました。議長(林 安宏様)進行のもと第1号議案～第5号議案を審議いただき、すべての議案は原案通り可決されました。貴重な意見等もいただきました。今年度の役員と主な事業計画の報告をさせていただきます。

### 【宿南地区自治協議会役員】

| 役職名 | 氏名    | 備考         |
|-----|-------|------------|
| 会長  | 維田 浩之 | 口三谷区長      |
| 副会長 | 宿南 正樹 | 寄宮区長       |
| 会計  | 池田 浩  | 川西区長       |
| 理事  | 木下 計介 | 町 区長       |
|     | 西田 毅  | 川東区長       |
|     | 西田 教之 | 門前区長       |
|     | 多田 勝俊 | 青山区長       |
|     | 太田垣 均 | 奥三谷区長      |
|     | 西田 雄一 | 地域づくり部 部会長 |
|     | 維田 宏美 | 体育部 部会長    |
|     | 高木 友里 | 文化部 部会長    |
|     | 池田 要  | 福祉部 部会長    |
| 監事  | 西田 教之 |            |
|     | 西田 毅  |            |

### 【宿南地区自治協議会専門部会】

| 専門部会名  | 役職名  | 氏名    |
|--------|------|-------|
| 自治振興部  | 部会長  | 維田 浩之 |
|        | 副部会長 | 宿南 正樹 |
| 地域づくり部 | 部会長  | 西田 雄一 |
|        | 副部会長 | 桑原 一憲 |
| 体育部    | 部会長  | 維田 宏美 |
|        | 副部会長 | 池田 龍郎 |
| 文化部    | 部会長  | 高木 友里 |
|        | 副部会長 | 西井 喜久 |
|        | 副部会長 | 川崎 知子 |
| 福祉部    | 部会長  | 池田 要  |
|        | 副部会長 | 田中 美晴 |



### 【事業計画】

|           |               |        |
|-----------|---------------|--------|
| 9月 1日(日)  | 養父市一斉避難訓練     | 地域づくり部 |
| 9月22日(日)  | 宿南地区総合運動会     | 体育部    |
| 10月27日(日) | 村民号(鳥取方面)     | 体育部    |
| 11月17日(日) | 宿南地区文化祭       | 文化部    |
| 3月 2日(日)  | 養父市消防団八鹿方面隊訓練 | 地域づくり部 |

※主な事業で日程が確定しているもののみを掲載しています。

この他の事業は都度「お知らせ」で案内させていただきます。

### 議会報告会 開催

5月1日(水) ふれあい倶楽部ホールに於いて、養父市議会議員4名を迎え、参加者13名で開催されました。「議会だより」から3月開催の定例会の内容について説明があり、その後、意見交換会が行われました。宿南地区の困っていることや意見・質問等の発言があり予定時間を超過して終了しました。



## 身近で見られる植物 ③⑥

### クワの実（桑）〈クワ科〉

八鹿には馴染みのある桑です。養蚕業が盛んな頃、桑畑があちこちに広がり、その名残で、桑の木を身近に見ることができます。今の時期、花が終わり、青い実が実りつつあります。5月末から6月にかけて黒紫色に熟し、生食やジャムにしたり、また、桑の葉でお茶もでき、材は木工品に利用できる優れたものです。



## 春の弾き語りコンサート & ひまわりカフェ

4月27日（土）ふれあい倶楽部ホールで「春の弾き語りコンサート」が開催され多世代の多くの皆さんに会場に足を運んでいただきました。音楽で優雅な時間を過ごし、「ひまわりカフェ」でコーヒーをいただき至福の時間を過ごしていただけたのではないのでしょうか。



### お知らせ

- 5月24日（金）小学校田植え
- 6月2日（日）クリーン作戦
- 6月30日（日）農家日役



## 草庵先生紹介

日記 63



満福寺の入り口の階段。100段あまりあるが草庵は何度も上がり下りしたことだろう。

濱 篤さん作

恩義を大事にし、たびたび満福寺を訪ねて不慮上人と親しく話していた池田草庵。その上人が亡くなられたという知らせが伝わってきた翌日、草庵はすぐに満福寺に出かけている。

「(前略) 今日不慮上人が亡くなられたということだ」(嘉永5〈1852〉年5月17日)

「夜明け早起きして満福寺に行く。不慮上人の喪を弔う。八鹿を通って帰り、夕方帰院。疲れて就寝」(同18日)

その後も草庵は満福寺にたびたび行っている。満福寺にある不慮上人の墓に参るのだ。

「午前、九鹿に行き林氏の喪を弔う。それから満福寺に行き不慮上人の墓に参る。その後、広谷を過ぎ大橋氏を訪問する(後略)」(安政4〈1857〉年9月1日)

「早起き。本日は休講。塾生の中島と話す。しばらくして、高浦、土屋、國屋、中島、西村など数人と一緒に八鹿を通って満福寺に行く。不慮上人の墓に参る」(安政6年4月15日)

草庵は不慮上人について「師は愚かな私を見捨てることなく、家にいる時は私をなげるようにしてかわいがり、外出する時は私のことを気にかけて、教える時にはわかるまで繰り返して人の生き方を教えてください、大変手厚くしていただきました。師は私の父親のように私を育ててくださいました(「奉不慮上人書」から)と書いたことがある。きっと上人の墓の前でいつでも思い出していたことだろう。

日記によると、上人の墓参りをした最後の日、明治9〈1876〉年10月22日だ。この時は既に63歳、翌年の11月には、半年間余り東京の病院に入院することになる。生涯、不慮上人の恩義を忘れない草庵であった。

池田草庵先生に学ぶ会